

**平成21年12月期 第1四半期
決算説明資料**

2009年5月

昭和シェル石油



注意事項

この資料には、当社グループ（当社及び連結子会社）の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。

原油価格と為替レート

		2008年度実績	2008年度 1-3月実績	2009年度 1-3月実績
ドバイ原油価格	(USドル/バレル)	94.2	91.3	44.3
為替レート	(¥/USドル)	103.5	105.2	93.8

連結損益計算書ハイライト

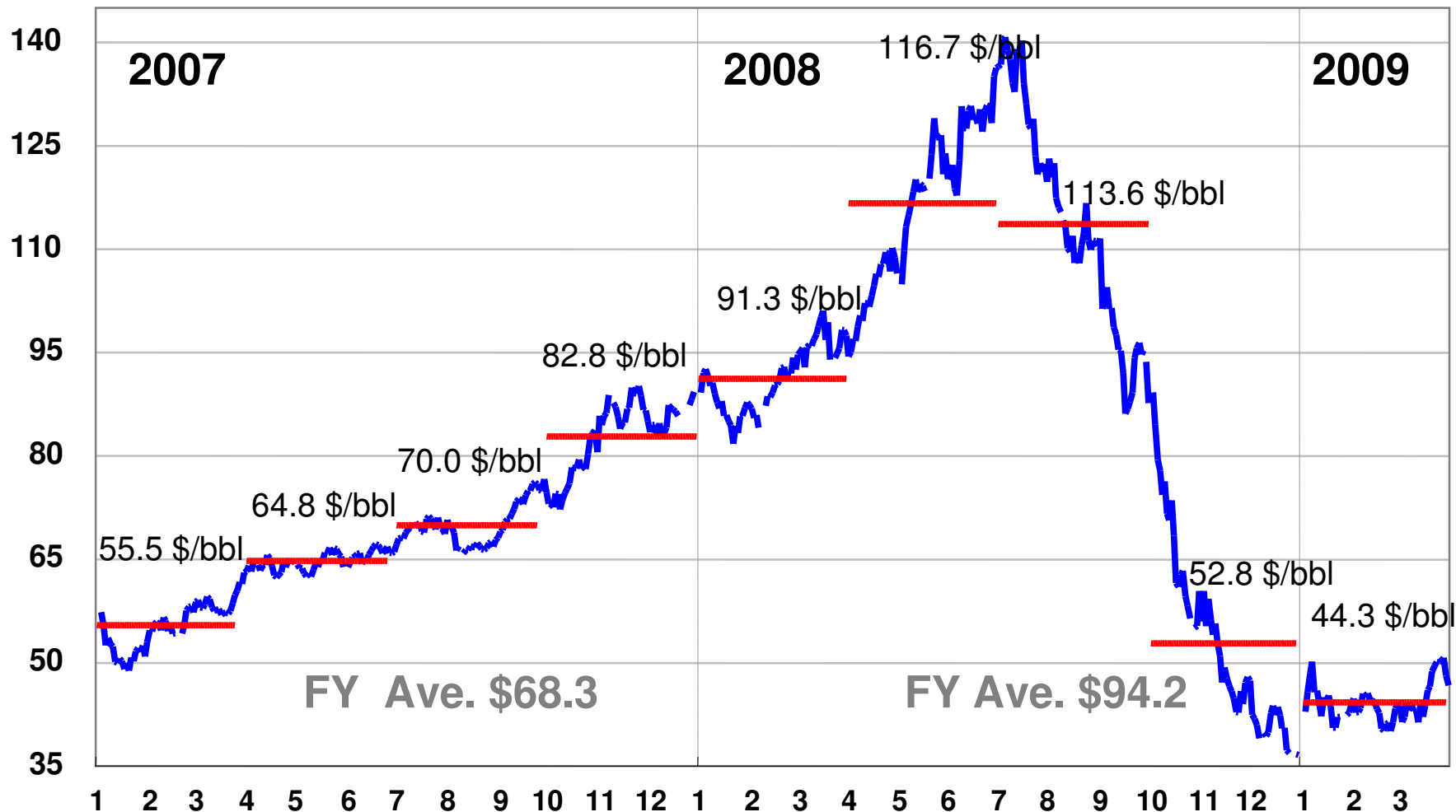
		2008年度 1-3月実績	2009年度 1-3月実績	増減	前年同期比
売上高	百万円	810,509	498,531	- 311,977	-38.5%
営業利益	百万円	16,613	-70,021	- 86,634	-
経常利益	百万円	18,231	-71,283	- 89,515	-
当期純利益	百万円	10,976	-43,341	- 54,317	-
※CCSベース営業利益	百万円	3,468	13,062	+ 9,594	+276.6%
※CCSベース経常利益	百万円	5,086	11,800	+ 6,714	+132.0%

【注】 カレント・コスト・オブ・サブライ (CCS) ベースの収益：在庫評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

- 平成21年度第1四半期連結業績は、売上高4,985億円（前年同期比▲38.5%）、経常利益は、期初のたな卸資産が売上原価を大幅に押し上げ、▲713億円（同▲895億円）となった。たな卸資産評価影響を除く実質経常利益は118億円となり、前年同期比67億円の増益となった。
- 石油製品ビジネスにおいては、世界的な景気後退により国内外の需給環境が悪化した。市況低迷に加えて暫定税率失効前のガソリン買い控え等の影響が発生した前年同期比では、大幅に収益が改善した。
- 石化ビジネスにおいては、景気後退を受けて昨年後半から低迷していた市況が若干上向いたものの、前年同期比では収益が悪化した。
- 事業環境を踏まえ、第2四半期累計期間の業績予想を売上高9,200億円、経常損失620億円、通期の業績予想は売上高2兆100億円、経常利益は0億円に修正する。なお、たな卸資産評価影響を除く通期の実質経常利益予想は、500億円に据え置く。

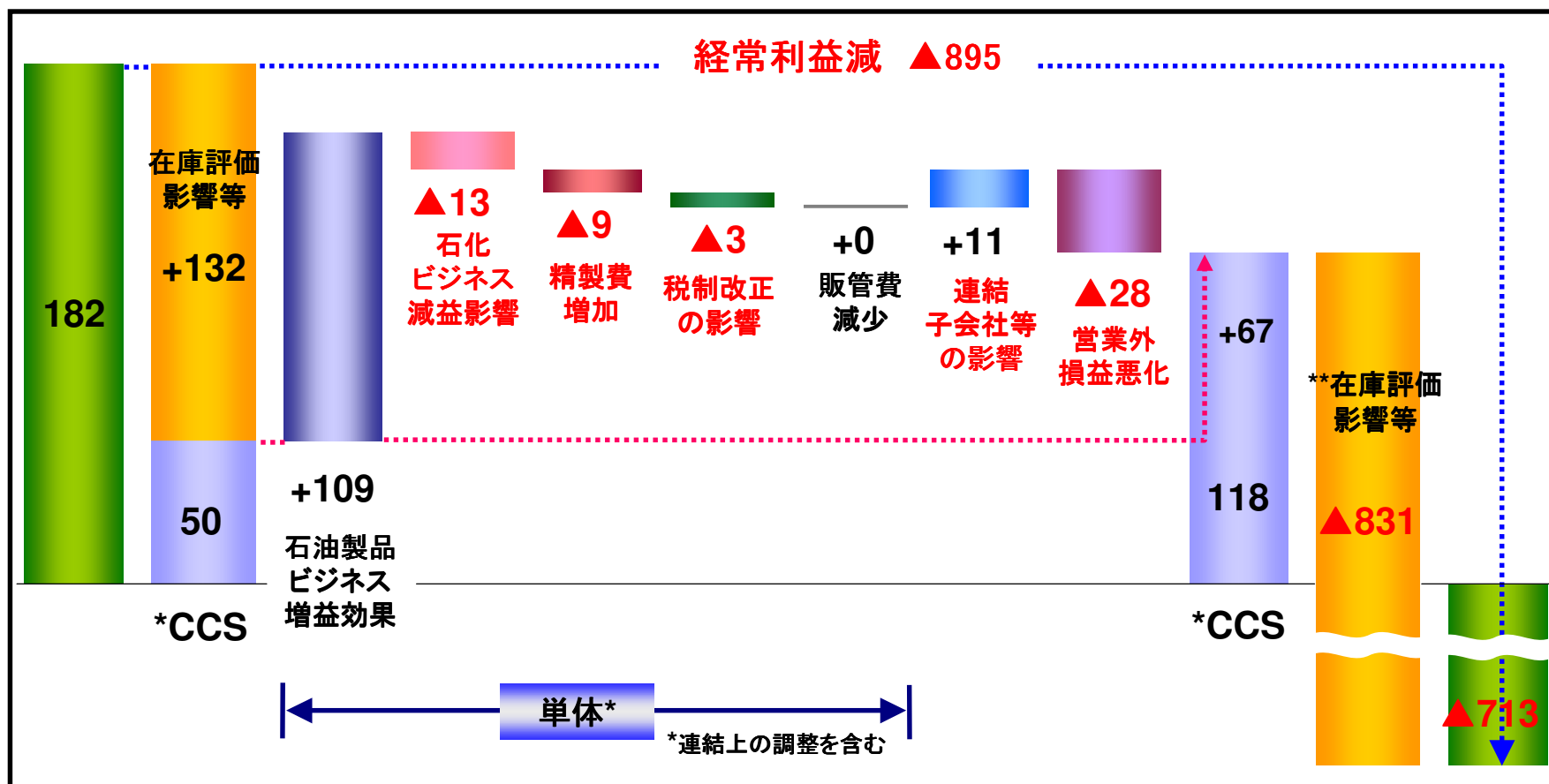
ドバイ原油価格の推移

USドル/バレル



(単位: 億円)

(連結ベース)



2008

2009

* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)
 ** 「在庫評価影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

原油価格と為替レート的前提

		2008年度実績	1-3月実績	4-6月想定	2009年度 上半期想定	7-12月想定	通期想定
ドバイ原油価格	(USドル/バレル)	94.2	44.3	50.0	47.0	56.0	51.5
為替レート	(¥/USドル)	103.5	93.8	100.0	97.0	100.0	98.5

連結業績予想

◆第2四半期連結累計期間

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想	930,000	-36,000	-36,000	-24,000
今回修正予想	920,000	-64,000	-62,000	-40,000
増減額	-10,000	-28,000	-26,000	-16,000
増減率	-1.1%	-	-	-

◆通期

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	2,030,000	20,000	20,000	9,000
今回修正予想	2,010,000	0	0	0
増減額	-20,000	-20,000	-20,000	-9,000
増減率	-1.0%	-	-	-

※ 通期のCCSベース経常利益は、500億円となる見込みです。